

磨耗 / 亀裂インジケータについて

マヴィックでは、一部のリムにブレーキ面の磨耗状態を示すインジケータを組み込んでいます。マヴィックのリムで使用されるインジケータは次の 2 種類です。

インターナル(内部)タイプ:

構造: リムのブレーキ面の両サイドウォール内側にインジケータが刻み込まれています。

原理:

リムの磨耗が進んでくると、リムの左右の各サイドウォール面に小さな穴が現れます。ブレーキパッドの調整状態によっては、穴がサイドウォール面のどちらか一方のみ現れる場合もあります。いずれにしろ、少なくとも一方のサイドウォール面に穴が現れたら、サイドウォールが薄くなっているため、リムを使用し続けると危険である可能性があります。この場合は、リムをできるだけ早く交換してください。

インジケータの位置は、リムのバルブ穴の反対側に貼ってあるステッカーに、2 つの黄色い矢印で示されています。

どのリムにこのインターナルタイプのインジケータが組み込まれているかは、前出のチャートに記載されています。

エクスターナル(外部)タイプ:

構造: リムのサイドウォールにインジケータがプロファイル(削り出し)されています。

原理: ブレーキングによりリムの表面が磨耗するにつれ、溝が次第に浅くなってきます。リムのどちらか一方の溝が消えたら、ブレーキ面の厚みが薄くなったため、リムを使用し続けると危険である可能性があります。この場合は、リムをできるだけ早く交換してください。

どのリムにこのエクスターナルタイプのインジケータが組み込まれているかは、前出のチャートに記載されています。

セラミック加工されたリムはブレーキ面の磨耗が少なくなりますが、セラミック加工の磨耗がインジケータ機能を果たします。

リムの使用条件

ユーザー様に伝えるべきリムの使用条件

マヴィックでは、リムやホイールの設計に革新的なテクノロジーを使用していますが、リムは、ライディングのタイプ、走行する地形、ブレーキパッド、スポークのテンション、タイヤ、タイヤ圧、気象条件などにより磨耗するため、永久に使用し続けることはできません。

各リムは、用途別(ロード、クロスカントリー、ダウンヒル、ツーリングなど)に設計されていますので、それ以外の使用による故障についてはユーザー様の責任となり、マヴィックの保証の対象外となります。

ユーザー様には以下の注意点を教えてください。

- ・ ライディングスタイルに適したモデルを選んでください。例えば、クロスカントリー用リムをフリーライド用、ダウンヒル用、デュアル用などのバイクのホイールに使用しないでください。
- ・ 適正タイヤ幅と空気圧については、テクニカルマニュアルの数値を厳守してください(p. 26 の表を参照)。
- ・ スポークのテンションには十分ご注意ください。マヴィックではホーザンテンションメーターで 70 ~ 90 kg(フロントまたは 3 クロスのリアフリーホイール側)のスポークテンションを推奨しています。不適当なスポークテンションは過剰なストレスを生じ、リムの損傷の原因となります。
- ・ マヴィックソフトストーン(M40410)で、リムのサイドウォールをクリーニングしてください。
- ・ ブレーキパッドに付着しているゴミや金属の破片は取り除いてください。
- ・ ブレーキパッドは適正な位置に戻してください。
- ・ サイドウォールが摩耗していたり、アイレットが外れているリムは、危険ですので絶対に使用しないでください。リムはブレーキパッド同様に摩耗するパーツですので、摩耗によりリムサイドが削られてきたり、歪みなどが生じた場合は、交換してください。
- ・ 磨耗インジケータ(インターナルまたはエクスターナル)が組み込まれたリムは、サイドウォールの少なくとも一方でインジケータが現れた(インターナルの場合)、または消えた(エクスターナルの場合)場合には、交換してください。
- ・ 磨耗インジケータが組み込まれていないリムは、深さゲージで両側のサイドウォールの厚みがいずれも 0.4 mm 以上あるかチェックしてください。
- ・ リムは、自分で、またはショップで定期的に点検するようにしてください。少なくとも、各シーズンの初めや苛酷な条件で使用した後は、必ず点検を行ってください。点検の際は、リムの内側(とくにリムテープの下)と外側を確認してください。アイレット周囲のウォールの破損や、ブレーキ面が破損していないか、磨耗インジケータが現れていないか(インジケータが組み込まれたリムの場合)などを点検してください。

これらの警告に従うことにより、リムの寿命が延びるだけでなく、最高の性能でライディングを楽しむことができます。

適正タイヤ圧(表)

クロスカントリー/クロスマウンテン*			
タイヤ幅		最大空気圧 (bar)	最大空気圧 (PSI)
”	mm		
1.00	25	7.00	103
1.20	30	6.00	88
1.50	38	5.20	76
1.75	45	4.80	71
1.85	47	4.70	69
1.90	48	4.50	66
1.95	50	4.30	63
2.00	51	4.00	59
2.10	53	3.70	55
2.20	56	3.30	49
2.30	58		

エキストリームマウンテンバイク*			
タイヤ幅		最大空気圧 (bar)	最大空気圧 (PSI)
”	mm		
2.10	53	3.50	52
2.20	56	3.30	49
2.30	58	3.20	47
2.40	61	3.00	44
2.50	63	2.80	41
2.60	66	2.70	39
2.70	69	2.50	36
2.80	71	2.40	34
2.90	74	2.20	32
3.00	76		

ロード & トライアスロン*		
タイヤ幅 (mm)	最大空気圧 (bar)	最大空気圧 (PSI)
19	10.00	146
23	9.50	138
25	9.00	131
28	8.00	117
32	7.00	103

アスファルト*		
タイヤ幅 (mm)	最大空気圧 (bar)	最大空気圧 (PSI)
28	7.00	103
30	7.00	103
32	7.00	103
35	6.00	88
37	6.00	88
40	5.60	82
44	5.20	76
47	4.80	71
50	4.50	66

*p. 22 のレベル別プロダクトの分類を参照。

耐久性

リムにはタイヤを保持し、ブレーキディスクの役割を果たすという 2 つの主な機能があります。

このブレーキディスクの役割におけるブレーキ面となるため、リムは、とくに苛酷な条件下や長期間の使用により、磨耗します。リムが磨耗する原因は、ブレーキパッドに付着した砂利や泥、またはブレーキパッドの磨耗や調整不良など、さまざまです。これらの原因により、リムのサイドウォールが磨耗または破損していても、ユーザーが気づかない場合もあります。

したがって、ブレーキパッドと同様にリムも定期的に交換する必要があることをユーザー様に必ず、知らせてください。

磨耗を軽減するために、マヴィックのトップモデルリムにはセラミック加工が施されています。

リムが強い衝撃により大きく変形した場合は、スポークに過度の負荷がかかったり、破損する恐れがありますので、速やかにリムを交換してください。

メンテナンス

リムとブレーキパッドは石鹸と水で定期的に洗浄してください。研磨物(砂など)を使用すると、隙間に詰まったり、リムのサイドウォールを磨耗または破損する恐れがあります。

ブレーキ面の洗浄が不十分な場合は、マヴィックソフトストーン(M40410)を使用してください。ただし、ディスクブレーキ専用のリムには使用しないでください。マヴィックソフトストーン、スポンジ、布以外は使用しないでください。

リムにオイルが付着している場合は、リムを傷つけずに、溶剤で取り除くことができます(ディーマックス用リムを除く)。ただし、ステッカーやタイヤの部分は劣化の恐れがありますので、溶剤を使用しないでください。